
今、国内外から注目される映画「BOLT」 12月11日より全国で上映！
東北芸術工科大学が制作、映画監督 林海象教授が現役大学生たちと撮影

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）デザイン工学部映像学科で教鞭を取る映画監督の林海象（はやし・かいぞう）教授が手掛けた映画「BOLT」が、2020年12月11日より、東京・テアトル新宿ほか全国で上映されます。（<http://g-film.net/bolt/>）

■東北芸術工科大学が制作、現役大学生たちが撮影

本映画は、2014年当時に学長だった根岸吉太郎（ねぎし・きちたろう）理事長（映画監督／本映画プロデューサー）に、「映像学科が所有する4Kビデオカメラで撮影をしてほしい」と言われたことがきっかけとなりました。この映画は、『BOLT』、『LIFE』、『GOOD YEAR』の3部作で構成されており、東北芸術工科大学が制作し、本学を含む当時の現役芸大生たちが撮影のほとんどに携わっています。

（写真左：高松市美術館で『BOLT』の撮影準備をする学生たち／写真右：林海象教授）



■国内外から今、注目

3本のうち、最初に製作された『GOOD YEAR』は、スウェーデンの国際映画祭『Västerås Film festival（ヴェステロース映画祭）』にて最優秀撮影賞を受賞、『BOLT』も「第22回上海国際映画祭」にて正式招待作品として上映、『京都国際映画祭 2019』では特別賞を受賞など、単体の映画としてもそれぞれ高い評価を得ています。また、3つのストーリーを1本の映画として構成した『BOLT』は、この度の全国上映に先駆け、「海外特派員協会」から上映のオファーを受けるなど、制作開始から公開までの7年を経て、現在、国内外からの注目を集めています。

■東北エリアでも2021年1月15日より上映

東北エリアでは、「フォーラム山形」（山形市香澄町）と「フォーラム仙台」（仙台市青葉区）にて、1月15日から上映されます。（詳細は、以下のフォーラム山形までお問い合わせください）

■林海象教授へのインタビュー取材について

林海象教授へのインタビュー取材をご希望の場合は、以下、東北芸術工科大学 企画広報課までお問い合わせ願います。（先着順にスケジュール調整をしております）